# 施 策 0601 自助・互助・公助のまちづくり

# ■施策をとりまく環境の変化

現在のコミュニティ活動は地域によって活発度が違います。また、市民の持つ価値観や欲求が多様化し、行政サービス提供のあり方についても問われて来ています。社会資本整備が一定の水準に達し、施設中心のハード整備から生活密着型の選択的サービスに変化し、サービス提供者が多様化する中で、機動性を生かせる場を確保しなければならず、従来の住区単位から、より身近な地域単位に軸足を移行させる必要があります。

### ■施策の目的

地域のコミュニティ活動が活発に行われ、さらにボランティア・NPOと市民とが協働して地域づくりを進めます。

## ■ 施策の目的達成度に関する指標(施策成果指標)

自治会活動の 活性化

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	自治会活動を通じ、 地域で支えあって いると感じている 市民割合	27.8%	<b>→</b>	7
02	ボランティア・ NPO活動を行っ ている市民割合	11.0%	<b>&gt;</b>	7

#### ◆成果指標選択理由

### 指標 01

コミュニティサービスが自治会活動を通じて、どれ位行われているか地域コミュニティの自立度を市民意識から見る指標です。

#### 指標 02

新しいコミュニティ活動であるボランティア・NPO活動の活発さを見る指標です。

# ■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
自治会活動に参加し ている市民割合	41.5%	
ボランティア・ NPO団体数	151団体	180団体

# ■施策を実現する手段(基本事業の構成)

つ60101 コミュニティ活動の支援と連携

対象市民·自治会

市民が自治会活動に積極的に参加し、地域住民の協働と連帯感を高め、コミュニティ活動を活発にします。

060102

市民活動団体(ボランティア・NPO)の支援と連携

対象 ボランティア・NPO

ボランティア・NPO活動に関わる人材を育成し、「市民協働」のテーマを掲げ、市民主体のまちづくりを行います。

# 施策 0602 男女共同参画社会の形成

# ■施策をとりまく環境の変化

社会の慣習・慣行の中には、女性に対する差別、あるいは男女間の役割に対する偏見が現状においていまだ存在しています。女性・男性の多様な生き方を阻害しているこれらの意識を解消する社会の形成が求められています。

# ■施策の目的

家庭・地域・職場や行政において性別役割分担意識や男女不平等意識の解消を図り、女性の社会進出を促進します。

# ■施策の目的達成度に関する指標(施策成果指標)

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	家庭・地域で男 女が不平等だと 思う市民割合	67.0%		<b>*</b>

#### ◆成果指標選択理由

#### 指標 01

市民意識調査により、男女不平等がどの程度存在するかを家庭・地域で男女が不平等だと思う割合から総合的に見る指標です。

#### ■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
職場・職業で男女平 等であると思う市民 割合	20.3%	7
女性の審議会等登用 割合	19.4%	30.0%

# ■施策を実現する手段(基本事業の構成)

060201

男女平等意識の確立

対象家庭·職場·地域·行政

さまざまな場面で男女の固定的役割分担意識 をなくしジェンダーフリーの定着を図り、男女平等 の社会的コンセンサスを形成します。

060202

女性の社会参画の促進

対象家庭·職場·地域·行政

女性が働くための環境づくりや行政への女性の参画を促進するとともに、家庭や地域等さまざまな場面において、女性の社会参画を促進します。



# 施 策 0603 国内・国際交流の推進

# ■施策をとりまく環境の変化

世界に開かれたまちづくりや世界に貢献する人材の育成、異文化交流など、これまでの友好親善を中心とした姉妹都市等との交流から一歩進め、市民一人ひとりが国際理解を深めるステージに移行しつつあります。

# ■施策の目的

市民が国内外の文化を受け入れ、コミュニケーションを深めることで外国人等と共に快適な生活を送ることのできる地域を目指します。

#### ■施策の目的達成度に関する指標(施策成果指標)

異文化交流の 機会を増やす

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	外国のことを理 解し、お互いの 歴史や風土を尊 重して交流でき る市民割合	14.1%	7	7

#### ◆成果指標選択理由

#### 指標 01

市民意識調査により、市民が外国人と交流を行っているか、また国際理解の意識が浸透しているかを見る指標です。

## ■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
外国人とコミュニケ ーションができる人 の割合	11.8%	<b>/</b>

# ■施策を実現する手段(基本事業の構成)

060301

人材・団体の育成

対象市民及び市内に通勤通学している者

市民が外国人とのコミュニケーションをとる能力を身に付け、またそれにより国際理解を深める人材や団体を育成します。

060302

在住外国人への情報提供の充実

対象 外国人

在住外国人に対する英語での情報提供や、外国人相談窓口の設置等、外国人が安心して暮らせるまちづくりを行います。

060303

異文化交流の推進

対象市民及び市内に通勤通学している者

異文化交流の機会を増やすとともに異文化の 理解を深めます。